

明新館通信

「日日新 又日新」(日日新たに 又日に新たなれ)

平成23年度

第10号

(通巻46号)

山形県立上山明新館高等学校
999-3139山形県上市市仙石650番地
☎023(672)1700
平成24年3月9日(金)発行

『第19回卒業証書授与式』を挙行



卒業生



卒業証書授与



卒業生答辞

「平成23年度第19回卒業証書授与式」を、3月1日(木)午前10時から本校体育館にて挙行了しました。卒業生307名は、吹奏楽部の演奏に合わせて入場。担任から一人ひとり呼名を受け、各学科・各コースの代表に、校長が卒業証書を授与しました。

式辞の中で校長は、中学生のときに「阪神・淡路大震災」で被災、3年前に陸前高田市に嫁いだ妊娠3ヶ月の女性が津波にのまれて亡くなったという新聞記事を紹介し、その女性の朗読を録音していた『最後だとわかっていたら』という詩をはなむけの言葉として贈りました。

そして、「皆さんの進む道は一人ひとり異なります。皆さんの中に同じ顔が二つとないように、皆さんのこれからの人生にも同じものは決して二つとありません。ただ、共通することは上山明新館高等学校で学んだということです。それをお互い誇りに思い、新たな環境においても、校訓『日日新たに、又日に新たなれ』のもと、品性を身につけ個性を伸ばし、たくましく生きること、そして、意欲的に社会に貢献し、大いに活躍することを期待します」と述べ、「卒業生の皆さんのこれからの人生に『幸多かれ』と教職員一同心から願い、式辞とします」と結びました。

最後だとわかっていたら

作・ノーマ コーネット マレック / 訳・佐川 睦

あなたが眠りにつくのをみるのが 最後だとわかっていたら わたしは もっとちゃんとカバーをかけて 神様にその魂を守ってくださるように祈っただろう

あなたがドアを出て行くのをみるのが 最後だとわかっていたら わたしは あなたを抱きしめ

てキスをして そしてまたもう一度呼び寄せて 抱きしめただろう

あなたが喜びに満ちた声をあげるのを聞くのが 最後だとわかっていたら わたしは その一部始終をビデオにとって 毎日繰り返し見ただろう

あなたは言わなくても 分かってくれていたかもしれないけれど 最後だとわかっていたなら一言だけでもいい・・・「あなたを愛してる」と わたしは 伝えただろう

たしかにいつも明日はやってくる でももしそれがわたしの勘違いで 今日で全てが終わるのだとしたら、 わたしは 今日 どんなにあなたを愛しているか 伝えたい

そして私達は 忘れないようにしたい 若い人にも 年寄った人にも 明日は誰にも 約束されていないのだということを

愛する人を抱きしめるのは 今日が最後になるかもしれないことを 明日が来るのを待っているなら 今日でもいいはず

もし明日がこないとしたら あなたは今日を後悔するだろうから 微笑みや 抱擁や キスをするためのほんのちょっとの時間を どうして惜しんだのかと

忙しさを理由に その人の最後の願いとなってしまったことを どうしてしてあげられなかったのかと

だから 今日 あなたの大切な人たちを しっかりと抱きしめよう そして その人を愛していること いつでも いつまでも大切な存在だということを そっと伝えよう

「ごめんね」や「許してね」や「ありがとう」や「気にしないで」を伝える時を持とう そうすれば もし明日が来ないとしても あなたは今日を後悔しないだろうから



明新館生の活躍

平成23年度斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール

最優秀作品 佐藤舞さん（3年）スカートのできかたにまつ家を出るこの日常も残りわずかか
ハンドボール部 第19回べにばなハンドボールフェスティバル 男子第2位 女子第3位
第57回青少年読書感想文コンクール村山支部審査

入選 西野目彩さん（3年） 田邊由香さん（2年）

上山市立図書館主催第54回読書感想文コンクール

優秀賞 米内祐美さん（3年） 齋藤流行君（2年）

